

第9期合志市男女共同参画推進懇話会

第12回 会議録(要旨)

1. 日 時 令和6年4月25日(木) 午後2時00分～午後3時30分
2. 場 所 合志市役所 2階 大会議室(中)
3. 出席者 委 員：山下知美、上田欣也、中村俊輔、後藤夏季、小西淑子、
中島瑞枝、中野秀人、長野千春、石原春美、原恭平、池邊豊美、
西崎久美子(敬称略)
事務局：坂井課長、濱田主幹、村中主査

4. 議事の要旨

- (1) 開会 事務局
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議事(議長=会長)

(1) 第11回会議録(要旨)公開にかかる承認について

合志市情報提供の推進に関する要綱第4条の3(会議録等の作成及び公表)の規定に基づき、委員に第11回会議録の内容について確認していただきました。全会一致で承認されましたので、市ホームページで公開します。

(2) 啓発紙「いっぽ」について

紙面(案)について事務局から示され、内容について確認していただきました。また、委員からは、以下のような意見が出ました。

- ・皆さんに見てもらう機会になっていいと思う。
- ・市ホームページに掲載するとのことだが、少数でもいいので紙媒体で市役所1階ロビーに置いてもいいのではないかと。

(3) 第9期委員の振り返りについて

第9期の活動等について振り返り(グループワーク)を行い、懇話会委員になり感じたことや市の課題、男女共同参画を進めるための対策、第10期委員へ伝えたいこと等を出し合い、以下の意見が出ました。

(グループ1)

- ・委員の活動を通して「多様性」について深い知識を得られた。
- ・市の現状として「パートナーシップ制度」が、なかなか市民に行き届いていないのではないかと。
- ・気づきうなずきフェスティバルに1人でも多く参加してもらうことが課題。

- ・サロンや自治会の集まりの際に男女共同参画やフェスティバルのPRができればいいのではないかな。
- ・第10期委員には、これまで以上に男女共同参画やLGBTQについて広めていってほしい。

(グループ2)

- ・懇話会は意見交換を活発に行える有意義な場であった。意見の幅広さも感じた。
- ・男女共同参画について表面的には理解していたが、自分に「男性は女性の家事を手伝っている」といった誤った認識があることに気づいた。
- ・「誰もが希望する場所で能力を発揮し活躍できる社会づくり調査」で女性の割合が0だった項目があったことが課題で、なくしていくことが大事。
- ・市の目指す男女共同参画の方向性をもう少し明確化すると、懇話会の具体的な進め方がわかりやすいのではないかな。
- ・男女共同参画の取り組みをホームページやSNS等の様々な発信ツールを利用し、若い世代の目に触れる機会を増やすことが大事だと思う。
- ・第10期委員には、まず「知る」ところから始めてほしい。男女差だけでなく人としての多様性をお互いが考えあうことが大事。

(グループ3)

- ・懇話会委員になり勉強になった。委員になる人の意識は高いが、職場ではまだまだ。
- ・「男は仕事、女は育児」という意識がまだ残っているのではないかな。
- ・育児中の給料について、満額支給されないのは課題ではないかな。
- ・子どもは欲しいけど仕事をしたい、専業主婦をしたいなど様々な人の希望が叶えられるようにしたい。
- ・保育園の数や教育費の増、給料増が課題。
- ・今回の意見について一つでも、市上層部に伝えてほしい。

(4)その他

①第12回会議録（要旨）公開にかかる承認について

第12回会議録の内容については、委員にお諮りする機会が無いことから、事務局で内容を確認後、市ホームページで公開することについて全会一致で承認いただきました。

②次期懇話会委員について

事務局から次期懇話会委員について、公募を広報こうし5月号に掲載、団体推薦は5月初旬に依頼書を送付予定と説明を行いました。

③委員からのご意見

委員から6月23日～29日の男女共同参画週間について、市ホームページ等での周知について確認があり、事務局より県の依頼があればホームページで周知する旨を回答しました。

(4) 閉会 会長